

## 自己評価報告書

平成23年 4月8 日現在

研究種目：基盤研究(C)  
研究期間： 2008～2011  
課題番号：20520572  
研究課題名(和文) 江戸芸能市場の階層構造の析出とその歴史の変質に関する実証的研究  
研究課題名(英文) An analysis of the stratification and historical change of the market in the arts during the Edo period  
研究代表者  
ジェラルド グローマー (GERALD GROEMER)  
山梨大学・教育人間科学部・教授  
研究者番号：50303392

研究代表者の専門分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：近世芸能史、芸能市場、門付け芸人、瞽女

## 1. 研究計画の概要

近世の芸能市場に大きな役割を果たした門付け芸、寺社境内に行われた神楽の上演などに着目し、史料に即して江戸の門付け芸、寺社境内などで行われた芸能の実態を把握し、その歴史的展開、興行の形態と入場料、上演された演目、芸人の社会的地位、観客の特徴などを明らかにする。このような分析によって、江戸の「芸能市場」の階層性も可能となると思われる。

## 2. 研究の進捗状況

(1) より国際的な観点から資料を収集、調査、分析するため、2009年10月と2010年11月に渡米し、兩年ともには2週間ずつ滞在しながらアリゾナ州立大学付属図書館において芸能に関する欧米に発表された最新の研究成果を調査し、数多くの研究書、学術論文、博士論文(主に英文、独文)を閲覧し、資料のコピーを行った。2010年11月には同大学のNoel Pinnington教授の協力を得て、情報交換を行った。なお2008年夏、2009年夏、2010年秋にはオーストラリアUniversity of New EnglandのHugh De Ferrantiの協力を得て、大阪の芸能市場に関する活発な情報交換も行った。その関係で、2008年12月には“Marketing the Performing Arts in Osaka before the Twentieth Century”という論文を国際日本文化研究センター(京都)で発表し、三日間のシンポジウムに参加した。2009年1

0月には旅と文化研究所(東京)主催のフォーラムに「近世の民衆と旅」というパネルに参加し、江戸の芸能市場と旅芸人について講演を行った。2010年9月には弘前で行われた津軽三味線の国際的シンポジウムにパネリストを勉め、近世と明治期の青森県に活躍した旅芸人について講演を行い、他の専門家と地方における芸能市場の展開について議論した。

(2) 東京の図書館を中心に、関東地方の市町村史を中心に史料調査を行い、編集、年表の作成などを継続し、またその分析作業に着手した。2010年、佐藤かつら著『歌舞伎の幕末・明治：小芝居の時代』(ペリカン社)が出版された。本研究のひとつの対象としてきた江戸の小芝居、宮地芝居の実態の詳細が明らかとなったため、本研究の主な対象のひとつであった江戸の小芝居・宮地芝居を少し修正し、芸能市場の実態を芝居に求めるよりは、社会の底辺に活躍した盲人、寺社境内に芸能を演じた神事舞大夫たち、あるいは江戸随所に活躍した乞胸という門付け芸人を重点的に扱うことにした。

(3) この方針にしたがい、本年は浅草寺の寺社境内の芸能(三社祭りに伴う「びんざさら」、湯立て神楽、雉舞など)に関する考察をまとめ英文の論文一編を学術雑誌において発表した。また女性盲人芸能者である「瞽女」に関するあらたに発見した資料を基に、芸能市場の階層的構造の分析を行い、和文の論文をまとめ、学術雑誌に発表した。

以上の活動に加え、津軽三味線の演奏者と芸能市場との関係について口頭発表を行い、瞽女に関するいくつかの講演を行った。

研究の進捗状況は以上の通りであるが、2010年も2008年以降蒐集した古文書、音響資料、視覚資料などに基づきいくつかの学術論文を執筆・刊行し、また江戸の芸能市場の階層的な正確を明らかにする研究書の執筆に取りかかる予定である。

### 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している

(理由)

分析、論文執筆、発表が順調に進んでおり、達成度が高い。

### 4. 今後の研究の推進方策

資料の分析、論文の執筆・発表、口頭発表などによって研究を継続する。

### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

①2011年、Gerald Groemer、瞽女研究拾遺、万葉古代学研究所年報、第9号、105-126

②2010年、Gerald Groemer、Sacred Dance at the Sensōji、Asian Ethnology、59巻2号、265-292

[学会発表] (計0件)

[図書] (計0件)

[産業財産権] (計0件)

[その他]

招待講演など

③2010/11/20 「瞽女文化と甲府」、山梨市立図書館主催「甲府文芸講座」の講演

④2010/09/19 「津軽三味線 国際的展望」  
Tsugaru-shamisen: An International Symposium、弘前城築城400年記念事業のシンポジウムの口頭発表

⑤2010/04/11 「瞽女唄の音楽性と伝承について」東京、門中天井ホール「門中天井ホール瞽女プロジェクト」の口頭発表